

消防操法技術を競い合いました



▲操法大会に出場する消防団員たち

三原川の河川公園で6月16日、小型ポンプの部8分団、ポンプ車の部6分団が出場し市消防操法大会が開催されました。

【大会結果】

- ◆小型ポンプの部【団体賞】
- ▽優勝 灘第1分団第2部
- ▽準優勝 三原志知分団
- ◆ポンプ車の部【団体賞】
- ▽優勝 神代第1分団
- ▽準優勝 阿万特設分団



▲灘第1分団第2部の選手の皆さん



▲神代第1分団の選手の皆さん

- ◆小型ポンプの部【個人賞】
- ▽指揮者 奈良昌之 (三原志知分団)
- ▽1番員 辻村卓浩 (三原志知分団)
- ▽2番員 伊藤充志 (沼島特設分団)
- ▽3番員 森下寿人 (灘第1分団第2部)
- ◆ポンプ車の部【個人賞】
- ▽指揮者 前原智 (神代第1分団)
- ▽1番員 山口晃正 (神代第1分団)
- ▽2番員 細川敦司 (神代第1分団)
- ▽3番員 藤本高広 (神代第1分団)
- ▽4番員 砂田直寛 (神代第1分団)

功労者表彰

兵庫県功労者表彰

県政の推進や地域活動、公共の福祉や産業振興などに功労のあつた方々に「兵庫県功労者表彰」が贈られます。2013年、南あわじ市では2人の方が県功労者として表彰されました。(順不同)

【自治功労】

川上 命さん(伊加利)

西淡町議会議員ならびに市議会議員として25年余にわたり在職し、豊かな知識と経験に基づく練達な手腕を遺憾なく発揮し、市政の発展に貢献されています。特に住民福祉の向上、町の活性化に寄与した功績は顕著です。市議会では1年間議長を務め、豊かな見識と沈着冷静な判断力で円滑な議会運営を図られました。

【農林水産功労】

松本俊一さん(阿万)

自営農業に専念する傍ら、南淡南部土地改良区理事、同副理事長、同理事長と歴任され通算24年間にわたり同土地改良区の運営に中心的役割を果たし、事業基盤改革と組織の育成強化に貢献されています。用水や排水の改良やほ場整備などの土地改良事業に卓越した指導力、行動力で尽力され、地域農業の発展に大きく貢献されています。



阿万中西町避難路竣工式



▲完成した避難路を登る地元の人たち

阿万中西町に避難路が整備され6月2日、関係者や地元の人たちが参加して竣工式が行われました。海抜が低い同地区では、これまで海抜約9メートルの砂山を一時避難所としていましたが、東日本大震災以降、住民からの不安が高まり、同地区から避難所の設置を市に要望していました。今回、建設費約2600万円をかけて整備された避難路はスロープと階段からなり、

コンクリート舗装された幅2メートル、延長109メートルの路が海抜28メートルの広場まで続いています。また避難路入口と広場に太陽光照明灯2基が設置されています。同地区の石井祝男自治会長は「避難路の完成を機に防災意識を高めていきたい」と話していました。これから海抜28メートルの広場に倉庫を設置してテントや水、非常食などの備蓄を検討しているそうです。

GENKI応援振興券



▲5月29日、記者発表で中田勝久市長(右)と志智宣夫商工会長(左)

市と商工会は、第5弾となる「GENKI応援振興券」を6月に発売しました。この振興券(商品券)の発売は、市内業者と生活者への元気を後押しして市民の購買意欲を促し、市内店舗の繁盛と地域経済を活性化するため継続して実施していきます。これまで好評を得た平成20年12月、平成21年3月、平成22年6月、平成23年7月に続いて今回で第5回目の発行となります。振興券は、オレンジのポス

ターが掲示されている市内約600店舗で使用できるもので、1セットが千円券11枚とったものを1万円で購入。1万円が1万1千円分の買い物ができる10%プレミアム付です。発行総額2億2千万円の2万セットを発行し、プレミアム分の2千万円を市が負担しています。使用期間は、7月から今年12月末までとしています。ぜひ、お早めにお使いください。

ふれあい市長室 元気な南あわじづくり

南あわじ市長 中田勝久

6月初旬に、全国市長会議、兵庫県市長会臨時会、公益財団法人日本離島センターの理事会有り、出席してきました。全国市長会議において、地震・津波対策、防災・減災対策、発災時の支援対策の充実強化等を求める「地震・津波等防災対策の充実強化に関する決議」や、社会保障や国民健康保険制度、介護保険制度等について「社会保障制度の充実強化に関する決議」等がなされ、それらの実現が図られるように国に強く要請していくことになりました。また、公益財団法人日本離島センターの理事

会においては、平成25年4月からスタートした改正離島振興法の計画策定で、離島住民の定住が明確に位置付けられました。南あわじ市は、沼島に対して、積極的な姿勢で国・県の支援、あわじ環境未来島構想のメニューなどにより、振興に向けて一つひとつ進めていきます。

先日、淡路島地震の影響で延期になっておりました、沼島総合観光案内所「舌甚」のお披露目式が開催されました。沼島地区あわじ環境未来島構想推進協議会により、特産品販売や島の魅力の情報発信拠点としてオープンし、島の周囲10kmを漁船で巡る「おのころクルーズ」や観光ボランティアガイドの受付窓口にもなっております。是非とも地域の活性化・発展の起爆剤となっていたきたいと思います。



▲GENKI応援振興券記者発表

また、本年度は南あわじ市GENKI応援振興券を6月に発売しました。早期災害復旧・賑わい創出と市内商工業

市民の皆さんにおかれましては、「元気な南あわじづくり」のための施策へのより一層のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

地域の活性化を図っていくために、自治体だけでなく、地域自身の主体的な取り組み、盛り上がり、益々求められています。市民の皆さんの積極的な活性化に向けた取り組みに行政も協力、お手伝いをさせていただきます。共に関心を持っていただき、「協働」が必要であります。



▲おのころクルーズの様子

また、本年度は南あわじ市GENKI応援振興券を6月に発売しました。早期災害復旧・賑わい創出と市内商工業

市民の皆さんにおかれましては、「元気な南あわじづくり」のための施策へのより一層のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。